

キラキラの角閃石

岩石名

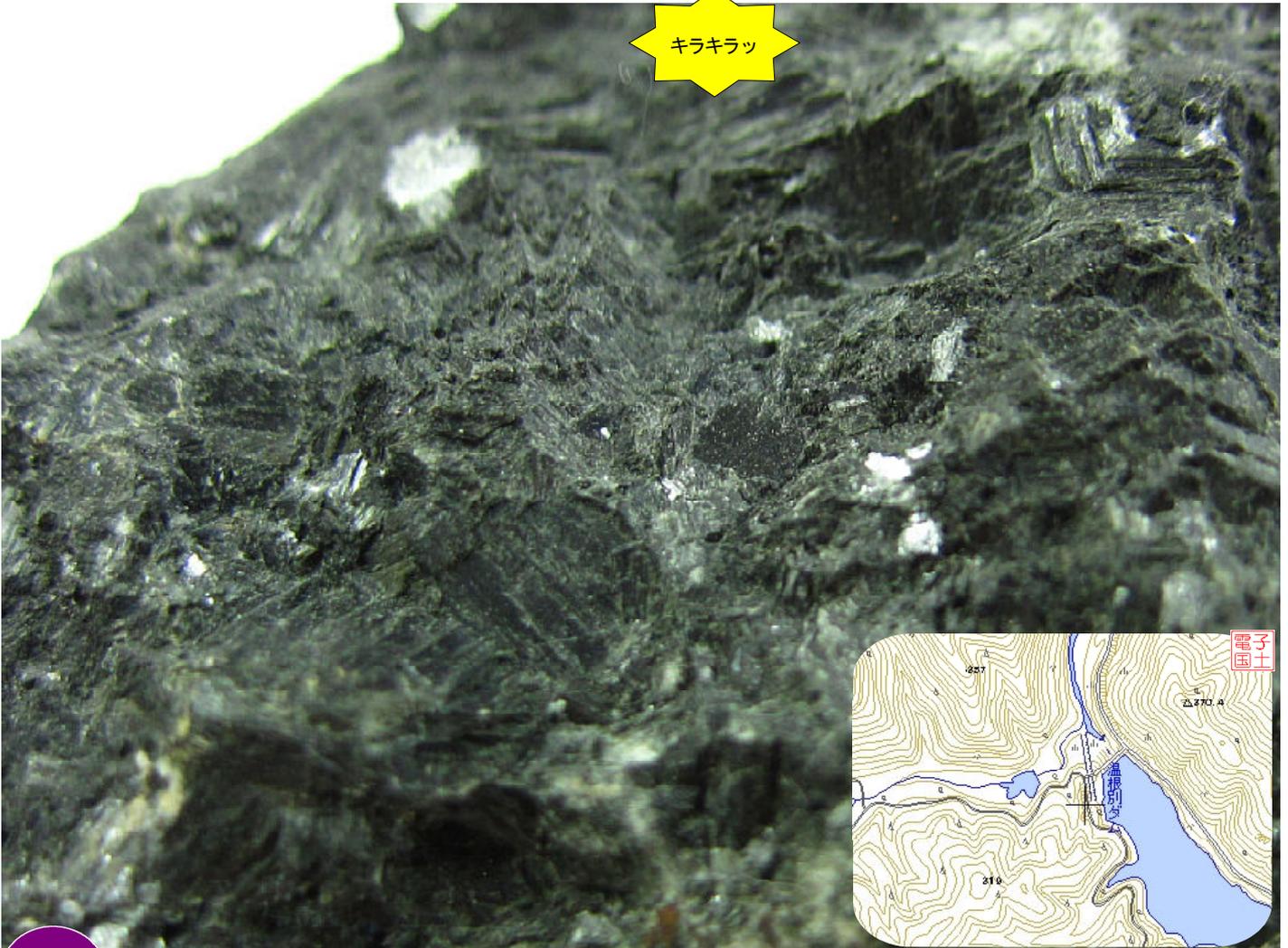
塊状角閃岩 Amphibolite
(かいじょうかくせんがん)

時代 中生代白亜紀

地質区分 幌加内オフィオライト

産出地 士別市温根別ダム

キラキラッ



解説

士別市温根別には、多くの種類の角閃岩があります。この標本は、ひとつひとつの角閃石の粒が大きく成長しており、塊状角閃岩と呼ばれています。キラキラと光を反射する、大変美しく珍しい岩石です。

角閃岩は、角閃石を主とし、斜長石を伴う岩石で、斑れい岩・玄武岩などの塩基性岩が変成されたものです。士別市温根別の温根別ダムや五線川周辺では多くの種類の角閃岩が観察され、幌加内オフィオライトの重要なメンバーです。これらはかつてジュラ紀の海洋プレートを構成していた玄武岩や斑れい岩が、白亜紀に変成されたものと考えられています。塊状のものや片状のものなど、様々な岩相が示され、源岩や変成条件のちがいを反映しているものと思われます。ダム付近の露頭をよく観察すると、斑れい岩が徐々に角閃岩に変わっているような場所も見つかります。



士別市温根別ダムの角閃岩



温根別ダムの角閃岩の“ズリ捨て場”

調べてみよう

- 角閃岩をハンマーで割ってみよう。ひとつひとつの角閃石の粒はどんな形をしているのかな。
- ダムの手前の西側の河原に降りる道には、角閃岩のズリ捨て場があります。そこできれいな角閃岩を探しましょう。うまくすると「エピソード」という緑色の鉱物が見つかるかも。